

---

# 米原市行財政改革実施計画

(集中改革プラン) (平成17～20年度)

---

# 目 次

市民の満足度を高めるための行政サービス	・・・	1
1 情報通信技術の活用などによる市民サービスの向上	・・・	1
(1) 窓口サービスの向上	・・・	1
(2) 行政サービスの情報化の推進	・・・	1
(3) 地域情報化の円滑な推進	・・・	2
2 公共施設サービスの効率化	・・・	2
(1) 公共施設の有効活用	・・・	2
3 事務事業の整理・合理化	・・・	3
(1) 事務事業の整理・合理化	・・・	3
(2) 補助金の見直し	・・・	4
市民との協働によるまちづくりの推進	・・・	5
1 市民の参画と協働の推進	・・・	5
(1) 市民の参画機会の拡充	・・・	5
(2) 市民との協働の推進	・・・	5
(3) パブリックコメント制度の導入	・・・	6
2 公正で透明性の高い行政運営の推進	・・・	6
(1) 情報公開および個人情報保護制度の充実	・・・	6
(2) 市民への情報提供の充実	・・・	7
(3) 監督機能の充実強化	・・・	7
(4) 審議会等の見直し	・・・	7
3 行政と民間の役割分担の明確化	・・・	7
(1) 行政と民間の役割分担の明確化	・・・	7
(2) 施設の管理運営等への民間活力の導入	・・・	8
(3) 外郭団体の健全化	・・・	8
持続可能な行政経営システムの確立	・・・	9
1 健全な財政運営の確保	・・・	9
(1) 中長期的な視点に立った財政運営	・・・	9
(2) 経費の節減・合理化	・・・	9
(3) 税等の収入確保	・・・	9
(4) 受益者負担の適正化および新たな財源確保	・・・	10
2 組織・機構の再編・整理	・・・	10
(1) 時代の変化に即応した組織・機構の構築	・・・	10
(2) 組織のフラット化と庁内分権の推進	・・・	11
3 人事管理	・・・	11
(1) 新人事制度の確立	・・・	11
(2) 定員管理の適正化	・・・	11
(3) 給与の適正化	・・・	12
4 職員の意識改革と人材育成	・・・	12
(1) 人材育成	・・・	12

( 2 ) 多様な人材の活用	・・・ 1 2
5 行政評価の推進	・・・ 1 2
( 1 ) 行政評価システムの導入	・・・ 1 2
6 行政情報化の推進による事務効率の向上	・・・ 1 3
( 1 ) 事務の効率化と( 2 )事務の情報化	・・・ 1 3
7 地方公営企業経営の見直し	・・・ 1 3
( 1 ) 地方公営企業の健全化	・・・ 1 3
8 公共工事コストの縮減	・・・ 1 3
( 1 ) 公共工事コストの縮減	・・・ 1 3
( 2 ) 新たな入札・契約制度の導入検討	・・・ 1 4
9 広域行政の推進	・・・ 1 4

## 米原市行財政改革実施計画（集中改革プラン）の策定について

### 1．行財政改革大綱の策定

米原市は、平成17年2月14日に、旧山東町、旧伊吹町、旧米原町が合併して誕生し、さらに同年10月1日に旧近江町と合併して新・米原市となりました。

旧4町においては、それぞれ行政改革を進めてまいりましたが、行政運営の効率化、行政サービスの向上は不断の見直しが必要であり、新市として初めての行財政改革の指針となる「第1次米原市行財政改革大綱」を策定しました。

### 2．行財政改革実施計画（集中改革プラン）の位置づけ

本実施計画は、「第1次米原市行財政改革大綱」に基づき、平成17年度から平成20年度の取り組み内容を示したものです。

#### 年次計画の見方

：調査・検討・協議

試行もしくは実施を前提に調査・検討・協議を行う。

：方針決定

試行もしくは実施に向けた具体的な方針の決定を行う。

：実施

試行または実施する。

（注意：事務事業欄のタイトルに対して、記号を付しています。例えば、「計画の策定」については、策定年度に を付し、「 の検討」については、検討年度に を付しています。）

### 3．米原市行財政改革大綱 および 実施計画（集中改革プラン）の策定経緯

H17.5.31 米原市行財政改革推進本部（以下「本部員会議」という。）の設置

第1回本部員会議（庁内推進体制等）

8.4 第2回本部員会議（スケジュール等、公の施設調査、補助金調査等）

10.17 第3回本部員会議（行財政改革大綱の趣旨、体系、行財政改革市民会議等）

11.4 行財政改革大綱各部局原案作成取りまとめ

11.9 米原市行財政改革市民会議（以下「市民会議」という。）の設置

第1回市民会議（スケジュール、財政状況等）

12.6 第4回本部員会議（行財政改革大綱案の審議）

12.9 第2回市民会議（行財政改革大綱案の審議）

12.22 実施計画各部局原案とりまとめ

H18.1.26 第5回本部員会議（実施計画案の審議）

1.31 第3回市民会議（行財政改革大綱案および実施計画案の審議）

2.22 第6回本部員会議（行財政改革大綱案および実施計画案の審議）

3.1 第4回市民会議（行財政改革大綱案および実施計画案の審議）

3.17 第1次米原市行財政改革大綱の確定

3.22 第5回市民会議（実施計画案の審議）

3.27 米原市行財政改革大綱実施計画（集中改革プラン）の確定

【参考】

新地方行革指針・・・ 分権型社会システムの転換を図るため、総務省から「地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針（新地方行革指針）」が平成17年3月に示されました。この指針では、「集中改革プラン」として、取り組むべき内容、期間などを明示し、公表することとなっています。

新地方行革指針のポイント

- (1) 行政改革大綱の見直し（本市にあっては「策定」）
- (2) 集中改革プランの平成17年度中の公表

集中改革プランとは・・・ 行政改革大綱に基づき具体的な取り組みを集中的に実施するため、次の事項を中心に平成17年度を起点とし、おおむね21年度までの具体的な取り組みを住民にわかりやすく説明した計画です。

- 事務・事業の再編・整理、廃止・統合
- 民間委託等の推進（指定管理者制度の活用含む）
- 定員管理の適正化
- 手当の総点検をはじめとする給与の適正化（給料表の運用、退職手当、特殊勤務手当等諸手当の見直し等）
- 第三セクターの見直し
- 経費節減等の財政効果
- その他

実施計画

市民の満足度を高めるための行政サービス

1 情報通信技術の活用などによる市民サービスの向上

(1) 窓口サービスの向上

ワンストップサービスの充実強化

( :調査・検討・協議、 :方針決定、 :実施、 :継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
テレビ会議システムの窓口導入と活用	テレビ会議システムの窓口導入と活用 分庁舎方式による市民の不安を解消するため、『テレビ会議システム』を4庁舎に配置し、市民と各庁舎の担当者をオンラインで結びます。	全部門 (情報政策課) (市民自治センター)					<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の庁舎間移動をなくし、サービスのスピードアップを目指します。</li> <li>顔が見える行政サービスにより安心と信頼性を確保します。</li> <li>身近な場所で窓口サービスが受けられます。</li> <li>いつでも、どこでも、誰にでも、新市の一体的な窓口サービスの展開を図ります。</li> </ul>
窓口業務マニュアルの見直しと電子化による安定したサービスの提供	窓口マニュアルの整備と電子化 窓口サービスの品質の安定化を図るため、窓口業務のマニュアルを整備し、絶えず見直しを行います。また、マニュアルの電子化により、情報の共有と見直しの効率化を図ります。	全部門 (市民自治センター)					<ul style="list-style-type: none"> <li>業務のマニュアル化により、公平で安定した質の高いサービスを提供します。</li> <li>業務マニュアルの電子化により、鮮度の高いマニュアルの管理ができます。</li> <li>職員が何時でも、誰でも業務の流れを確認し、正確なサービスを提供します。</li> </ul>

職員の資質向上

( :調査・検討・協議、 :方針決定、 :実施、 :継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
職員研修の実施	職員研修計画の策定 計画的な研修を実施するため、接遇の改善やスキルアップにつながる職員研修計画を策定します。	総務課					<ul style="list-style-type: none"> <li>市民に対し親切丁寧な対応を図り、市民への信頼性の向上をめざします。</li> <li>クレーム等の共有により、職員の共通理解を深めることで、市民サービスの向上をめざします。</li> </ul>
	接遇の改善 市民とのふれあいを大切にするため、接遇研修を実施します。	総務課					

(2) 行政サービスの情報化の推進

市役所電子窓口サービスの推進

( :調査・検討・協議、 :方針決定、 :実施、 :継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
各種サービスのICT化とWEBサイトの充実	各部局電子窓口担当者の設置 行政サービスの情報化を推進するため、各部局に申請手続きの電子化、情報整理、情報発信を行う電子窓口担当者を設置します。	全部門 (情報政策課)					<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所の電子窓口サービスの充実に向けた庁内体制を確立します。</li> <li>市民はインターネットにより、何時でも市役所にアクセスができ、時間を気にせずサービスが受けられます。</li> </ul>
	ICT環境整備 市民が窓口に出向かなくてもサービスが受けられるようにするため、インターネットで行える各種申請・届出等を幅広く、わかりやすく、探しやすいようにします。						

ICT・・・(Information and Communication Technology)の略で情報通信技術。

コンピュータやデータ通信に関する技術を総称的に表す用語。情報通信におけるコミュニケーションの重要性をより一層明確化するために、ITに代えて近年使用され始めている。

実施計画

(3) 地域情報化の円滑な推進

ICTを活用した市民生活基盤の整備

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
地域情報化の推進	地域情報化計画の策定 あらゆる分野における情報のネットワーク化を推進するため、地域全体のICT化に向けた戦略的な計画を策定します。	全部門 (情報政策課)					・市全体としてバランスのとれた地域情報化をめざします。 ・市民が社会のICT化によってもたらされる利益を、市内のどこでも、いつでも受け取ることが可能な環境を整えます。
	CATVの整備・拡充 市民への情報提供の地域間格差を解消するため、米原地域・近江地域へのエリア拡大と加入促進を図り、映像を用いた視覚的かつ臨場感あふれる情報をお茶の間までお届けします。	情報政策課					・平成21年度末現在で加入率100%を目指し、市内に一体的、効率的な情報提供を図ります。

2 公共施設サービスの効率化

(1) 公共施設の有効活用

市民のライフスタイルに応じた施設の効率的な有効活用

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
時代にマッチした類似施設の統廃合と利用目的の転用	公共施設の再配置等の検討 時代に合った市民ニーズに対応するサービス提供施設への転換を図るため、合併により、旧4町で整備された公共施設の計画的な再配置を進めていくとともに、施設で実施されている管理運営の効率化をめざし、また、低効率な公共施設についても、より有効な活用形態について検討します。	関係部課 (契約管理課)					・合併前の旧町の施設の再編・統合を図ることで、管理運営の効率化や新市の一体感を醸成し、地域の特性を生かしたまちづくりが効果的に実施できます。
	学校給食センターの統合 老朽化した施設の機能更新を図るため、山東学校給食センターと伊吹学校給食センターを統合します。	教育総務課					・平成21年度当初に統合給食センターの稼働をめざします。 ・市全域での調理の方法・配食区域を見直すことにより、効率的な管理運営をめざします。 ・統合により、管理運営面の効率化、人員配置の効率化につながります。
	し尿処理中継槽の統廃合 効率的・経済的な維持管理を図るため、し尿処理中継槽の統廃合について検討し、必要最小限にしていきます。	環境保全課					・効率的で経済的な維持管理が図れます。
遊休・低利用施設の活用方法	活用方法の検討 遊休・低利用施設の有効利用を図るため、各種施設の利用実態を把握し、防災備蓄倉庫や市民団体等の公益的活動拠点への転換などを検討します。	関係部課 (契約管理課)					・公有財産の有効活用を図ります。
	市民団体活動拠点への転用 地域に根ざした市民活動団体を育成するため、遊休施設を活動拠点の場所として再利用化を図ります。	人権協働課 (契約管理課)					・公有財産の有効活用と、市民団体活動の活性化を促進します。
	放課後児童クラブへの転用 地域の実情に合わせた児童の健全育成を図るため、学校の空き教室の活用も含めた既存施設の有効活用により事業の充実を図ります。	子ども課 (契約管理課)					・公有財産の有効活用と、子どもの安全確保および児童の健全育成が図れます。

実施計画

3 事務事業の整理・合理化

(1) 事務事業の整理・合理化

限られた財源の有効活用と市民ニーズへの対応

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
全事務事業の整理・統合	全事務・事業の見直し 効果的な経費の投入を図るため、市が行っている全事務事業の整理・統合を実施します。また、行政評価システムの構築に併せて、事業の見直しを継続的に実施します。	全部門 (総合政策課)					・市民ニーズに対応した財源の有効活用をめざします。 ・整理統合によって生まれた財源を、新たな事業に活用できます。
個別取組事項	ISO14001の適用範囲拡大とその推進 全職員の環境意識の高揚と環境への負荷を低減する行動を実践するため、ISO14001の適用範囲を拡大し、推進を図ります。	全部門 (総合政策課) (自治振興課)					・適用範囲を全庁的に拡大することにより、さらなる環境意識とコスト意識の高揚が図れます。 ・平成17年度末に山東・伊吹・米原庁舎の取得、さらに平成18年度に近江庁舎の取得をめざします。
	交通災害共済事務の見直し 個人情報の保護や、加入手続き事務の簡素化などの観点から、口座振込手続きに変更します。	防災安全課					・公金の適正な管理と、事務の簡素化および個人情報の保護に努めます。
	市税等口座振替事務の見直し 事務の効率化を図るため、期別の口座振込振替通知を年間一括通知に変更します。	税務課					・事務の簡素化・効率化と経費の節減が図れます。
	前納報奨金制度の廃止 金融機関等の窓口での納税及び口座振替による納税などが普及し、自主納税の意識が高まってきたことや、この制度が適用される納税者に受益の不公平が生じていることから、前納報奨金を平成21年度から廃止します。	税務課					・負担の公平化と、財政の健全化につながります。
	生活保護費の口座振込支給 生活保護費の支給方法において、窓口支給から口座振込支給に切り替えます。	社会福祉課					・公金の適正な管理と、事務の簡素化が図れます。
	在宅介護支援センター運営事業の再編 介護保険法の改正により予防重視型の制度に転換されることから、高齢者の相談窓口として機能を果たしている在宅介護支援センターを総合相談・支援、介護予防マネジメント、包括的・継続的マネジメントを実施するため、地域包括支援センターとして再編します。	高齢福祉課					・高齢者社会に対応した新たなサービス提供体制を構築します。
	介護激励金の支給制度の廃止 介護保険サービスの充実に伴い、現金給付から現物給付へ移行するため、介護激励金の廃止について検討します。併せて介護者交流事業の充実を図ります。	高齢福祉課					・介護サービスの充実を図ることにより、介護者の負担の軽減を図ります。
	消防車両等の計画的配備 市消防団のポンプ車、積載車、可搬式ポンプ等の計画的な配備を行います。	防災安全課					・車両等の効果的な配備、更新等を行い、健全な財政運営につなげます。
	公共交通システムの最適化 路線バスの利用状況、収支状況を調査・把握し、米原市内公共交通の最適化を一体的に行います。	総合政策課					・効率的な移動手段の確保と、財政負担の軽減を図ります。
	道路アクションプログラムの作成 道路アクションプログラムを作成し中長期的な計画を作成し、事業の効率化を高めます。	建設課					・効率的な事業推進が図れます。
	松くい虫被害対策自主事業計画および地区計画の作成 松くい虫処理区域(必要区域)を見直し、効果的な事業実施に努めます。	森林整備課					・区域の重点化(縮小)を図り、効率化を図ります。
	幼稚園および小・中学校のあり方検討 園・学校の適正規模、通園・通学区域等の幼稚園および小・中学校のあり方を検討し、将来構想についても協議していきます。 ・校区のあり方の検討 ・通学バス補助の調整	教育委員会					・市立幼稚園および小・中学校のあり方について協議し、その改善、充実を図ります。
	保育のあり方について検討 保育園、幼稚園の運営や幼保一元化等の就学前教育の構想について協議していきます。	教育委員会 こども課					・少子化、家庭環境の激変、家庭の教育力の低下等に伴い、保育のあり方について協議し、その改善、充実を図ります。

実施計画

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
個別取組事項	乳幼児健診事業の再編 4か月児、10か月児、1歳6か月児、2歳6か月児、3歳6か月児健診事業の月齢に見合った、健診内容の充実、健診精度の向上を図るため、4会場での実施体制から1会場での実施体制に再編します。	健康づくり課					・サービスの効率化を図れるとともに、4センターの育児相談事業の充実が図れます。 ・経費節減にもつながります。
	予防接種事業の見直し ポリオについては、実施会場を4会場から2会場。BCG接種については、4か月児健診と同時実施し、市民の利便性および事業の効率化に向けた見直しを図ります。	健康づくり課					・充実したサービス提供が図れると同時に、健診事業が同時に受けられ、市民の利便性を図ります。
	育児支援事業の連携強化 こども課、健康づくり課、教育委員会、社協が実施している育児支援の教室、サロンなどの事業を整理調整し、事業の目的、各課の役割を明確にするとともに、支援の連携を密にします。	健康福祉部 教育委員会					・同種同様の事業を整理することにより、事業の効率化が図れます。
	おきがるドックの健診事業への統合 他の諸制度との事業整理を行いながら、住民健診の内容を見直す中で、おきがるドックを健診事業へ統合します。	健康づくり課					・事業を廃止する一方で、住民健診内容の効率的見直しを図ることで、より効果的な健診内容の提供が図れます。
	地域病害虫防除協議会事務の合理化 現在の4地域の病害虫防除協議会を地域の実情に応じて2地域の防除協議会に移行し農業者主体にすることにより本来の目的を達成することで事務の合理化を図ります。	農村振興課					・事務の合理化が図れます。
	青少年パトロール事業の共同実施 青少年育成市民会議と少年センターの青少年パトロールを共同実施し、効率化と効果的な事業に再編します。	生涯学習課					・事業の効率化を図りながら、青少年の健全育成に努めます。
	「青年と女性の集い」と「男女共同参画集会」の共同開催 効率化と効果的な事業に再編するため、「青年と女性の集い」と「男女共同参画参画集会」を共同で開催します。	人権協働課 生涯学習課					・事業の効率化が図れます。
	ふるさとを歌うみんなのうたコンクール事業の整理統合 「ふるさとを歌うみんなのうたコンクール」と「米原市芸術展覧会」の事業を統合し、特色ある効果的な事業に再編します。	文化スポーツ 振興課					・再編により、効果的な市民の文化意識の高揚を図ります。
市内文化ホール事業の整理・統合 市内各文化ホール(市民交流プラザ、薬草の里)の事業の同種同様の事業を整理します。	文化スポーツ 振興課					・事業整理することにより、2つの文化ホールを有効に活用していきます。	
市単独老人福祉医療助成制度の廃止 助成制度の公平性を図るため、旧米原町地区の65～69歳老人に対する医療費助成を18年7月末で廃止します。	医療保険課					・助成制度の公平性を図ります。	

(2) 補助金の見直し

限られた財源の有効活用と市民ニーズへの対応

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
補助金の見直し	補助金見直しの方向性 客観性と公平性を確保するために、目的や効果に照らした補助金等交付対象事業・制度の見直しを行います。なお、見直しにあたっては、既得権や前例にとらわれず、継続・新規事業による補助金交付についても、すべて終期を設定し、終期到来時に再度見直しを行っていきます。	財政課					・既存の補助金の廃止・縮減による一般財源を他の事業に充てるなど、限られた財源を有効に活用するように努め、市民サービスの向上を図ります。 ・平成21年度予算では、平成17年度予算の市単独補助金総額の10%削減を目指します。
	補助金の交付状況の調査 現状の各種補助金の交付状況を把握するため、各課の全補助金を対象に一覧表を作成します。	財政課					
	交付に関する見直し基準の策定 交付に関する基本事項、個別事項などの内容を列挙した見直し基準や推進についてのガイドラインを作成します。	財政課					
	新基準による見直し実行 新基準に基づく補助金の見直しを実施します。	全部門 (財政課)					

事務事業の整理・合理化/補助金の見直し

実施計画

市民との協働によるまちづくりの推進

1 市民の参画と協働の推進

(1) 市民の参画機会の拡充

市民の声を市政に反映

( :調査・検討・協議、 :方針決定、 :実施、 :継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
市民公募委員制度の推進	市民公募委員制度の推進 市政への市民参加を推進するため、市民公募枠を拡大し、市民自らがまちづくりに参画できる仕組みを構築します。	全部門 (総務課)					<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の参画意識が高まり、市民主体のまちづくりの実現につながります。</li> <li>市政の主人公は市民であることが実感でき、いきいきとした市民生活をおくることができます。</li> </ul>
	審議会委員等の構成基準の策定 幅広い市民の参画を得るため、審議会委員等の選出方法、男女の比率、公募枠、兼職の限度など、選任にあたっての基準を定めます。	総務課					
市民参画による計画策定・政策立案	市民フォーラムやワークショップの活用 市民の多様な参画機会を設けるため、大規模事業などの計画の策定にあたっては、市民フォーラムや検討組織等を立ち上げ、市民の意見を取り入れた計画策定を行います。	全部門					
情報の共有	広報・広聴モニター制度の導入 市民の声をまちづくりに反映するため、広報・広聴モニター制度を導入し、市民との対話や情報交換を密にした双方向型行政スタイルを確立します。	情報政策課		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の行政への参画が推進され、情報共有が図れます。</li> </ul>

(2) 市民との協働の推進

協働によるまちづくりの推進

( :調査・検討・協議、 :方針決定、 :実施、 :継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
協働推進のための仕組みづくり	自治基本条例の制定 市民主体のまちづくりを推進し、自らまちづくりに参画する仕組みを構築するため、自治基本条例の制定を目指します。	総合政策課					<ul style="list-style-type: none"> <li>市民との協働のまちづくりの実現が図れます。</li> </ul>
協働による事業推進	市民記者・特派員の設置 市民の視点や知識、発想などに立った広報づくりを行うため、取材等に協力いただく市民記者・特派員を設置します。	情報政策課					<ul style="list-style-type: none"> <li>市民感覚あふれる親しみやすい広報づくりができます。</li> </ul>
	コミュニティ交通システムの検討 地域の実情に応じた生活交通手段を確保するため、地域住民、交通事業者、行政が協働・連携し、バス交通にとられない、地域住民主導による新たな生活交通システムを検討します。	総合政策課					<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人々の相互利用や相互交流が実現でき、コミュニティビジネスへの発展につながります。</li> </ul>
	防犯パトロール隊の設置 安全で安心な地域社会の実現のため、「地域の子どもは地域の手で」の合言葉のもと、市民主体のパトロール隊を設置します。	防災安全課					<ul style="list-style-type: none"> <li>顔の見える関係のもとで、子どもの安全が守られます。</li> </ul>
	自主防災組織の組織化 災害発生における被害軽減に大きな役割を担う、自主防災組織の育成および組織化の促進を図ります。	防災安全課					<ul style="list-style-type: none"> <li>全自治会における組織化を目指します。(H17現在101自治会中、82自治会で組織化)</li> </ul>
	都市公園維持管理要領の作成 遊具等の施設管理方法を明確にするため、地元との協働による都市公園の管理について、適正な役割分担を定めます。	都市計画課					<ul style="list-style-type: none"> <li>市民との協働により、愛着のある都市公園の維持につながります。</li> </ul>

実施計画

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
人づくり・団体育成	NPO市民のつどい・NPO入門講座の実施 市民団体の活動を促進するため、市民団体ネットワークづくりのためのつどいやNPO入門講座を実施します。	人権協働課					・市民団体等の新たなネットワークが形成され、創造的な活動がひろがります。
	農地保全団体の育成 遊休農地で地域特産品の生産から販売までを担える市民団体を育成します。	農村振興課					・地域の特徴を活かした特産品の振興が図れます。 ・雇用の確保と農地荒廃対策につながります。
	生涯学習出前講座の充実 まちの仕組みや行政の仕事を理解していただくため、地域に出向いてわかりやすく説明します。	全部門 (生涯学習課)					・行政の説明責任と、情報提供の充実、人づくり・団体育成に努めます。
	ボランティア講座の開設とボランティアの育成支援 市民がボランティアについて学び、活かしていきながら、まちづくりへの市民参画を推進します。	生涯学習課 各公民館					・市民の主体的なまちづくりへの参画を促し、市民との協働のまちづくりが推進できます。
	まちづくり市民大学「ルッチ大学」の開講 まちづくりについて、市民が仲間意識で学び、自らが考え、話し合い、力強く行動・実践ができる人材育成を図るため、市民大学を開講します。	生涯学習課					・市民の主体的なまちづくりへの参画を促し、市民との協働のまちづくりが推進できます。

(3) パブリックコメント制度の導入

市民の政策等づくりへの参画

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
パブリックコメント制度	パブリックコメント制度の導入 市の基本的な政策に対して市民の意見を反映させるため、その手続きを定めた『米原市パブリックコメント制度』を導入します。	情報政策課	○				・市の基本的な政策等に対して市民が意見を述べる機会を保障するとともに、政策等の意思決定過程における公正の確保と透明性の向上を図り、協働によるまちづくりが実践できます。
	パブリックコメント制度の活用 パブリックコメント制度を市政運営のための標準ツールとして位置づけるため、実効性ある制度の運用を推進します。	全部門					

2 公正で透明性の高い行政運営の推進

(1) 情報公開および個人情報保護制度の充実

行政の透明性の向上

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
情報公開の充実	文書管理システムの確立 情報公開への対応を図るため、文書ファイリングシステムにより、適切な文書管理を確立します。	全部門 (総務課)					・文書管理事務の効率化と情報公開請求への迅速な対応が図れます。
	市政情報プラザの設置 市民と行政の情報共有に必要な各種行政情報を積極的に提供(公開)するため、『米原市政情報プラザ』を市役所各庁舎および市立図書館に設置します。	全部門 (情報政策課)	○				・誰でも自由に、各種行政情報を閲覧することができます。 ・積極的な情報の公開により、行政の透明性の向上を図ります。
個人情報の適正管理	個人情報保護条例の見直し 個人情報について、より適正な管理を図るため、個人情報保護条例を見直します。	総務課					・市役所が保有する個人情報について、権利や利益を保護することができます。
	職員研修の実施 個人情報保護条例の適切な運用を行うため、職員研修を実施します。	全部門 (総務課)					

実施計画

(2) 市民への情報提供の充実

積極的な情報提供

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
みんなにわかる政策 広報づくりの推進	政策広報づくりの充実 政策・施策のねらいを市民にわかりやすく伝えるため、広報の充実・強化を図ります。	情報政策課					・積極的な情報提供により、早い段階から市政の動きを知ることができ、市民と行政の対話が生まれ、双方向型まちづくりにつながります。
	『みんなにわかる みんなのまいばら予算』の発行 市民から預かった税金の使い道をわかりやすく伝えるため、『みんなにわかる みんなのまいばら予算』を編集・発行します。	情報政策課					
『市政情報プラザ』 の設置・運用	市政情報プラザの設置(再掲) 市民と行政の情報共有に必要な各種行政情報を積極的に提供(公開)するため、『米原市政情報プラザ』を市役所各庁舎および市立図書館に設置します。	全部門 (情報政策課)	○				

(3) 監査機能の充実強化

市民への信頼性の向上

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
外郭団体の監督強化	外郭団体の計画的な実地監査 公正で透明性の高い行政運営を推進するため、市が財政的援助をしている団体の出納等について、中長期的な計画により実地監査を実施します。また、所管課における監督機能の強化を図ります。	監査委員 事務局					・公正で透明性の高い行政運営を目指し、市民への信頼性が高まります。
外部監査制度の検討	外部監査制度の検討 監査機能の専門性と独立性の一層の充実を図り、外部監査制度の導入について検討を進めます。	監査委員 事務局					

(4) 審議会等の見直し

委員構成の適正化

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
審議会等の委員選任 基準の制定	審議会委員等の構成基準の策定(再掲) 幅広い市民の参画を得るため、審議会委員等の選出方法、男女の比率、公募枠、兼職の限度など、選任にあたっての基準を定めます。	総務課					・多様な市民の意見が市政運営に反映されます。

3 行政と民間の役割分担の明確化

(1) 行政と民間の役割分担の明確化

民営化と民間委託等の推進

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
民間委託等の推進	定型業務の民間委託化 行政事務のスリム化を図るため、総務事務などの定型的業務について、類似団体の状況を参考にしながら、民間委託の可能性について検討します。 【検討事例】 給与・旅費計算 人事管理 窓口業務など	全部門					・定型業務を民間委託することにより、市民サービスの低下を招かない定員削減や、新たな市民サービスへの人員配置ができます。
	生活保護診療報酬レセプト点検の民間委託 生活保護の適正な診療報酬支給と、事務のスリム化を図るため、レセプト点検の民間委託を実施します。	社会福祉課					

実施計画

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
民間活力への移行	柏原歯科診療所および大原歯科診療所の廃止 民間の歯科診療サービスの充実に伴い、柏原歯科診療所と大原歯科診療所を廃止します。	医療保険課					<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民サービスの低下を招かないよう、民間のサービスへ移行します。</li> <li>・適正な人員配置、定員管理にもつながります。</li> <li>・行政と民間（自治会・団体等含む）との役割分担の明確化が図れます。</li> </ul>
	訪問看護ステーションの廃止 地域における民間医療・介護サービスの環境変化のため、直営の訪問看護ステーションをあり方を見直し、民間への役割分担を進めます。	高齢福祉課					
	老人憩の家の地元移管 地域に密着し、地域住民に専ら使用され、今後、行政の活用が必要が低い施設については地元へ譲渡していきます。	高齢福祉課					
	児童遊園の地元移管 地域に密着し、地域住民が専ら使用され、今後、行政においても活用の可能性が低い施設については地元へ移譲していきます。	こども課					
	地域水田農業協議会事務の民間への移行 地域水田農業協議会事務について、本来の目的を整理し、行政主導から行政支援に移行し、JA等民間主導へと転換を図ります。	農村振興課					

(2) 施設の管理運営等への民間活力の導入

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組事項	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
指定管理者制度の導入および公共施設の管理の検討	指定管理者制度の活用 公の施設において、民間事業者の管理運営等のノウハウを用いた経費の軽減と住民サービスの更なる向上を図るため、指定管理者制度を積極的に導入します。	関係課 (契約管理課)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の運営コストの削減が可能となるほか、サービス提供水準の向上や地域経済の活性化が期待できます。</li> </ul>

(3) 外郭団体の健全化

外郭団体・関係団体等の合理化

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組事項	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
外郭団体・関係団体等の合理化	外郭団体見直し基準の策定 見直しの考え方や市が取り組むべき事項などの内容を列挙した見直し基準や推進についてのガイドラインを作成します。	関係課 (財政課)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全かつ自立的な団体運営が可能となるよう支援し、今後の社会経済情勢の変化を踏まえ、適正な体制とともに、団体のあり方について検証します。</li> </ul>
	外郭団体・関係団体の見直し 財政の健全化、自立化を図るため、外郭団体・関係団体等について、役割の類似性や運営体制の効率性の視点から指導・調整や支援に努めます。	財政課 (各課照会)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務拡大にあたり、組織体制の整備、業務処理工程の見直しなどによる運営経費削減等について必要な指導監督を行い、効率的な運営や経営を支援します。</li> </ul>
	その他の任意団体の見直し 補助金の見直しに連動し、団体の活性化や事業の再編・再構築を検証します。	団体所管課 (財政課)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の自主性、自立性の向上が図られ、事業運営の効率化や、財政支援においても、負担の軽減が期待できます。</li> </ul>

実施計画

持続可能な行政経営システムの確立

1 健全な財政運営の確保

(1) 中長期的な視点に立った財政運営

計画的なまちづくり

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
新たな時代にふさわしい行政運営の推進	短期財政見通しの作成 計画的な財政運営を行うため、向こう3ヶ年までの財政見通しを一定の条件をもって作成し、公表します。	財政課					<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画にもとづいた財政運営の健全化によって、中長期的なまちづくりが進められます。</li> <li>・平成21年度決算で経常収支比率90%以下をめざします。</li> </ul>
	中長期財政計画の策定 ・持続可能な行政経営を確立するため、市総合計画の策定に合わせ、今後10年度を対象期間にした財政計画を策定します。  【検討事例】 バランスシートの検討	財政課					

(2) 経費の節減・合理化

効率的な行政経営

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
経費節減	全事務・事業の経費節減 経費の効率的な執行を図るため、市が行っている全事務事業の創意工夫に努めます。	全部門					・経費節減による財源を有効活用し、新たな行政需要に対応できます。
	旅費日当支給適用範囲の縮小 出張にかかる交通費と合わせて支給されている日当について縮減していくよう見直します。	総務課					・見直しにより、経費節減を図れます。
	天狗の丘管理業務の見直し 天狗の丘(公園施設)の管理業務委託の見直します。	教育総務課					・管理業務の効率化を図ることににより経費節減が図れます。
	B&G海洋センタープール閉館期間の短縮 市民の利用状況を考慮し、B&G海洋センターのプール閉館期間を短縮します。	文化スポーツ振興課					・市民の利用実態に応じて期間を短縮することにより、経費節減が図れます。
	市民交流プラザの休館日の設定 市民の利用状況を考慮し、市民交流プラザの休館日(毎週月曜日)を設定し、維持管理経費を節減します。	市民交流プラザ					・市民の利用実態に応じて休館日を設定することにより、経費節減が図れます。

(3) 税等の収入確保

一般財源の確保

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
徴収体制の強化	滞納整理マニュアルの整備 収納率の向上を図るため、滞納整理マニュアルの整備と徴収体制の充実を図り、円滑な滞納整理業務を実施します。	税務課					<ul style="list-style-type: none"> <li>・収納体制の強化により、安定した税金の確保と市民間の負担の公平化を図ります。</li> <li>・市税等の徴収率を前年度対比0.1%アップをめざします。</li> </ul>
	徴収会議の開催 効率的、効果的な徴収を実施するため、随時、市税や国保税、水道使用料など関係課、関係職員の徴収会議を開催します。	税務課					
	徴収嘱託員の設置 滞納整理および口座振替の促進を図るため、徴収嘱託員を設置します。	医療保険課					
市有財産(遊休・低利用土地・法定外公共物)の整理処分	遊休地処分による財源確保 自主財源を確保するため、遊休地や利用度の低い市有財産の整理処分を積極的に進めます。	契約管理課					・自主財源の確保と財産の有効活用につながります。

実施計画

(4) 受益者負担の適正化および新たな財源確保

負担の適正化と財源の開拓

( :調査・検討・協議、 :方針決定、 :実施、 :継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
受益者負担の適正化	見直し基準、ガイドラインの作成 負担の公平化を図るため、減免取扱いなどの見直し基準や推進についてのガイドラインを作成します。	財政課 (各課照会)					・行政サービスの受益と負担の公平化の観点、事務事業の性格、市民ニーズ等も考慮しながら定期的に見直しを行い、歳入の確保に努めます。
	国民健康保険税の統一化 負担の公平性を図るため、旧4町の合併調整に従い、不均一課税を段階的に調整し、平成20年度から統一します。	医療保険課					
	インフルエンザ予防接種の有料化 無料となっている年々増加する年間約5,000件以上の予防接種について、受益者の有料化に向けて、検討・導入します。	健康づくり課					
	保育料の改定 合併調整による保育料の見直しとともに、幼稚園・保育園のあり方の検討を進めながら、幼稚園保育料と併せて、継続して見直ししていきます。	こども課 学校教育課					
	放課後児童クラブ保護者負担金の改定 幼稚園・保育園のあり方検討による保育料の見直しと同時に、放課後児童クラブの保護者負担金を見直します。	こども課					
新たな財源の確保	新たな財源の検討 ・財政運営の健全化を図るため、次に例示するような財源の確保を検討します。  【検討事例】 自主財源確保策の研究 印刷物、ホームページなどへの広告掲載 市有財産貸付料の見直し ミニ公募債など新たな財源の創設	財政課 (各課照会)					

2 組織・機構の再編・整理

(1) 時代の変化に即応した組織・機構の構築

総合的・機能的な組織・機構の構築

( :調査・検討・協議、 :方針決定、 :実施、 :継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
効率的な組織機構の構築	組織・機構の見直し 市制施行による新たな行政課題や多様な市民ニーズに対応し、時代に最適な行政組織を実現していくため、効率的な組織のあり方について適時見直します。	総務課					・行政課題に対応した市民にわかりやすい行政組織を構築することで、市民サービスの向上につながります。
	助役の収入役事務の兼掌 電算処理システムの高度化による会計事務の簡素化と、チェック機能の事務の効率化により収入役事務を助役が兼掌します。	総務課					・人件費(約1,300万円)の削減が図られます。
内部会議の見直し	各種内部会議の見直し 限られた時間と人材を有効に活用するため、各種内部会議を効率的・戦略的にできるように会議の環境整備を図ります。  【検討事例】 ・部長会 ・幹事課長会 ・プロジェクトチームの設置 ・部内会議 など	総務課					・組織の強化と、まちづくりの展開が迅速化されます。

実施計画

(2) 組織のフラット化と庁内分権の推進

機動的な行政運営

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
組織内分権の推進	人事管理の権限委譲 各部が自己決定、自己責任のもとに行政経営という認識をもち施策・事業を展開するために、人事管理業務の権限を委譲していきます。	総務課					・組織内分権により、事務処理のスピードアップと個々の職員の責任と権限が明確化され、意思決定が迅速化されます。 ・部内における相互の柔軟な応援体制が可能となります。
	包括予算の検討・実施 部単位による行政経営組織として施策・事業を展開するため、予算査定や予算執行を大幅に権限委譲する包括予算について検討していきます。	財政課					
組織のフラット化	中間管理職の見直し 事務処理や意思決定の迅速化や責任と役割を明確化するため、組織のフラット化を進めます。	総務課					

3 人事管理

(1) 新人事制度の確立

健全な競争原理の醸成

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
人事考課制度の研究	人事考課制度の研究 組織の活性化を図るため、人事考課制度を研究し、職員的能力・業績等を活かした人事管理を進めます。  【将来的な検討事例】 複線型人事制度 庁内公募制度 希望降任制度 など	総務課					・公平な制度を導入することで、職務に対する意欲を高めることができます。 ・職員的能力を最大限に引き出し、組織として活かしていくことができます。 ・人材育成の観点にも配慮した人材育成型人事管理を進めていきます。
	目標管理制度の導入 日常業務を遂行する過程を通じた職員的能力開発を図るため、目標管理制度を導入します。	総務課					
	登用試験の実施 マネジメント能力に優れた管理監督者の育成と、職場の活性化、職員の意欲向上を図るため、課長補佐昇任試験を実施します。	総務課					
	自己申告制度の導入 適材適所への配置や人材育成の参考とするため、職員から職場の希望・感想等を記載させる自己申告制度を導入します。	総務課					

(2) 定員管理の適正化

適正な定員管理

( : 調査・検討・協議、 : 方針決定、 : 実施、 : 継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
定員適正化計画の策定	定員適正化計画の策定 合併により過大となった職員数を、計画的に削減するため、定員適正化計画を策定します。	総務課					人件費等の縮減を図り、財政運営の計画性を担保します。
計画的な職員採用	計画的な職員採用 定員適正化計画に基づき、年齢構成等のバランスに配慮した計画的な職員採用を行います。また、技能労務職員は原則として新規採用しないこととします。	総務課					平成22年度までに8.6% (42人)の職員削減をめざします。 (H17.10.1現在 491人)
定員管理の状況の公表	定員管理の公表 人事管理の透明性を図るため、職員の定員管理の状況を公表します。	総務課					・人事行政運営における公平性と透明性の確保を図ります。

実施計画

(3) 給与の適正化

適正な給与管理

( :調査・検討・協議、 :方針決定、 :実施、 :継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
給与の見直し	人件費の抑制 国に給与制度に準じて、職員の昇給を抑制します。	総務課					・実施により、人件費の削減が図れます。
	退職時の特別昇給の廃止 退職時の特別昇給について廃止します。	総務課					
職員手当等の見直し	各種手当の見直し 管理職手当や特勤手当など、各種職員手当の見直しを図ります。	総務課					
給与の公表	給与の公表 給与管理の透明性を図るため、職員給与の状況について、広報紙、市ホームページを通して公表します。	総務課					
人事考課の反映	人事考課の反映 新たな人事制度の導入により、能力主義・業績主義を基本とした給与制度の運用を図ります。	総務課					・公正公平な人事考課制度により、給与制度の適切な運用が図れるとともに、併せて職員の人材育成につながります。

4 職員の意識改革と人材育成

(1) 人材育成

時代に適応した人材の育成

( :調査・検討・協議、 :方針決定、 :実施、 :継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
人材の育成	人材育成基本方針の策定 人材育成に積極的に取り組むため、人材育成基本方針を定め、めざすべき職員像を示し、組織の経営の理念、人事諸制度の改革の方向性を示します。	総務課					・職員の組織経営の理念、人事諸制度の方向性を示し、人材育成に積極的に取り組みます。
	職員研修計画の策定 職員の資質の向上を図るため、人材育成基本方針に基づく職員研修計画を策定し、計画的な職員研修を実施します。	総務課					・職員の能力向上を図ることにより、質の高い行政サービスが提供できます。
	目標管理制度の導入(再掲) 日常業務を遂行する過程を通じた職員の能力開発を図るため、目標管理制度を導入します。	総務課					・行政に対する市民の評価が高まり、市民都市の実現につながります。

(2) 多様な人材の活用

効果的な行政運営

( :調査・検討・協議、 :方針決定、 :実施、 :継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
職員採用制度の見直し	職員採用制度の見直し 新規採用者とのバランスは図りつつ、専門知識を有する意欲的な職員の採用制度の導入を検討します。 【検討事例】 経験者採用制度 任期付採用制度 など	総務課					・雇用の機会を増大されるほか、人件費支出の効率化が図れます。
人事交流	県および他市町との人事交流 人材育成と地域連携強化を図るため、県および他市町などとの人事交流を進めます。	総務課					・広い視野をもった職員の育成や、人的なネットワークの構築が図れます。

5 行政評価の推進

(1) 行政評価システムの導入

質の高い行政運営

( :調査・検討・協議、 :方針決定、 :実施、 :継続実施)

取組事項	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
行政評価システムの導入	行政評価システムの導入 効率的・効果的な行政経営、アカウントビリティ(説明責任)の徹底、職員の意識改革などを行うため、行政評価システムを導入します。 また、チェック機能を高めるため、外部による評価制度についても検討します。	総合政策課					・PDCAサイクルを組み込むことにより、持続的な改善が図れます。

実施計画

6 行政情報化の推進による事務効率の向上

(1) 事務の効率化と(2) 事務の情報化

事務効率の向上

( :調査・検討・協議、 :方針決定、 :実施、 :継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
地域情報化計画の策定と計画的な推進	地域情報化計画の策定(再掲) あらゆる分野における情報のネットワーク化を推進するため、地域全体のICT化に向けた戦略的な計画を策定します。	全部門 (情報政策課)					・市全体としてバランスのとれた地域情報化をめざします。 ・市民が社会のICT化によってもたらされる利益を、市内のどこでも、いつでも受け取ることが可能な環境が整います。
情報セキュリティ対策の強化	セキュリティポリシーの策定 事務の効率化と電子情報の安全管理を行うため、セキュリティポリシーを策定します。	全部門 (情報政策課)					・電子情報の適切な管理を実施することにより、事務の効率化が図れます。 ・個人情報を適正に管理することができます。
行政手続きの電子化	行政手続きの電子化 利便性の高い市役所をめざすため、インターネットを利用した様々な申請・届出等の手続きを行えるシステムを検討します。  【検討事例】 電子申請、電子証明、電子投票票、電	関係課 (情報政策課)					・市民の行政手続きの利便性が向上します。

7 地方公営企業経営の見直し

(1) 地方公営企業の健全化

経営の健全化

( :調査・検討・協議、 :方針決定、 :実施、 :継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
徴収体制の強化	滞納整理マニュアルの整備 収納率の向上を図るため、滞納整理マニュアルの整備と徴収体制の充実を図り、円滑な滞納整理業務を実施します。	水道課 下水道課					・収納体制の強化により、安定した使用料等の確保と市民間の負担の公平化を図ります。
	徴収会議の開催 効率的、効果的な徴収を実施するため、随時、市税や国保税、水道使用料など関係課、関係職員の徴収会議を開催します。	水道課 下水道課					
水道事業の健全化	中期経営計画の策定 計画的な経営の健全化を図るため、中期経営計画を策定します。	水道課					・企業経営としての健全化を図ります。
	伊吹簡易水道の企業会計移行 水道事業の独立採算と公平公正な負担を目指すため、伊吹の簡易水道を企業会計へ移行します。	水道課					
	水道料金の適正化 独立採算のもとで経営の健全化を図るため、水道料金の適正な改定を実施します。	水道課					
下水道事業の健全化	下水道事業計画の見直し 計画的、効率的な整備を進めるため、下水道事業整備計画を見直します。	下水道課					・効果的な事業推進を図ります。

8 公共工事コストの縮減

(1) 公共工事コストの縮減

効率的な社会資本整備

( :調査・検討・協議、 :方針決定、 :実施、 :継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
建設工事施工計画の策定	工事発注管理シートの作成 施工箇所の重複発注を防ぐため、工事発注管理シート等を作成し、複数年の建設工事施工計画書を作成します。	契約管理課 (工事発注各課)					・効率的で、経済的な発注が可能となり、工事中の市民への影響も最小限に抑えられます。

実施計画

(2) 新たな入札・契約制度の導入検討

競争原理の確保と透明性・公平性の確保

( :調査・検討・協議、 :方針決定、 :実施、 :継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
長期継続契約の実施	一括契約・複数年契約の実施 経費節減のため、契約状況の把握をもとに、経費圧縮が図れるものの洗い出しを行い、契約満了が同一物件のものの一括見積入札や、複数年契約を実施します。 【検討事例】 ○A 機器、車、医療機器等の物品 施設等の保守メンテナンス契約	全部門 (契約管理課)					・長期継続契約により、経費節減につながります。
予定価格事前公表の入札の執行	予定価格の事前公表 入札の透明性と公平性、入札妨害行為の排除および工事を適正な価格で発注を行うため、予定価格事前公表の入札を実施します。	工事発注課 (契約管理課)					・入札の透明性と公平性を図れ、併せて経費節減につながります。

9 広域行政の推進

広域化による効率的な行政運営

( :調査・検討・協議、 :方針決定、 :実施、 :継続実施)

取組区分	事務事業の概要	担当課	計画年度				目標・効果等
			H17	H18	H19	H20	
広域行政の研究	事務処理の共同化 市域をこえて広域的に事務処理した方が効率的である事務事業の共同化について研究します。	全部門					・コストの分担により、相互の経費負担が少なくなります。
	障害者自立支援認定審査の共同化 障害者自立支援法に伴う障害福祉サービスの必要性を審査する審査会事務を広域的に共同処理を行い、効率化を図ります。	社会福祉課					